

くらしに、
いつも
*NEW*を。

多摩市定例記者会見

4月22日

多摩市×I-レジリエンス株式会社の連携協定による初の取組

レジリエントライフプロジェクト「令和サイバー養成キャンプ」 に関する 取材のご案内

～聖蹟桜ヶ丘（せいせきカワマチ）で5月18日(土)開催～

自然災害だけでなく日常の様々なリスクにも対応 新たな防災への取組
「令和サイバー養成キャンプ」を実施します！

総務部防災安全課

レジリエントライフプロジェクト「令和サバイバー養成キャンプ」取材のご案内 ～聖蹟桜ヶ丘（せいせきカワマチ）で5月18日(土)開催～

I-レジリエンス株式会社（代表取締役社長：小林誠）は、4月11日に締結した東京都多摩市（市長：阿部裕行、以下多摩市）との連携協定を受け、自然災害だけでなく、学校や職場での人間関係や心身の健康など日常の様々なリスクに対応する「生きる力」を身に付ける「令和サバイバー養成キャンプ」を2024年5月18日(土)に実施いたします。本施策を自治体と連携して行うのは、今回が初となります。

ポイント

多摩市とIレジリエンス株式会社が本年4月11日に連携協定、新しい防災への取組「令和サバイバー養成キャンプ」を5月18日に聖蹟桜ヶ丘（せいせきカワマチ）で開催

多摩市とレジリエントライフプロジェクト

多摩市は、多摩ニュータウンという日本最大級の大規模集合住宅や多摩川流域の住宅地等を擁する自治体として災害時における住民の自助・共助力の向上に向けて、I-レジリエンス株式会社と連携協定を今月11日に締結しました。同社が主催するレジリエントライフプロジェクトとの連携を推進します。本プロジェクトは、自然災害をはじめ、社会そして個人に起因するリスクまで、あらゆるリスクが生み出す困難を乗り越えるためのレジリエンス（適応、回復、教訓を得て成長・予防のサイクルに繋げる力）を高め、地域の自助・共助の力を向上させることで、豊かな生活の実現を目指していく産官学民の取組みです。

■レジリエントライフとは

自然災害のリスクをはじめ、社会に起因するリスク、そして個人に起因するリスクに至るまで、あらゆるリスクが生み出す困難を乗り越えるための「レジリエンス」を高め、より豊かな生活の実現を目指す、新しいライフスタイルです。それぞれ起因するリスクは違っていても、個人を起点にあらゆる困難を乗り越えるためのレジリエンスを日常生活から高めることは、個人の意識向上による自助と自治体・企業連携による共助の力を高め、結果として自然災害に対する対応力の底上げにもつながると考えています。

レジリエントライフプロジェクトについて
<https://resilient-life-project.i-resilience.co.jp/>



■レジリエントライフプロジェクト参加企業・団体（順不同）

プロジェクト主催	：Iレジリエンス株式会社	
プロジェクトパートナー	：	
タイガー魔法瓶株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	日本製紙株式会社
日本製紙クレシア株式会社	株式会社博報堂	マイナビ株式会社
株式会社三菱総合研究所	株式会社読売新聞東京本社	ミサワホーム株式会社
ジオテクノロジーズ株式会社	株式会社サイエンスクラフト	
プロジェクトR&Dパートナー	：国立研究開発法人 防災科学技術研究所	

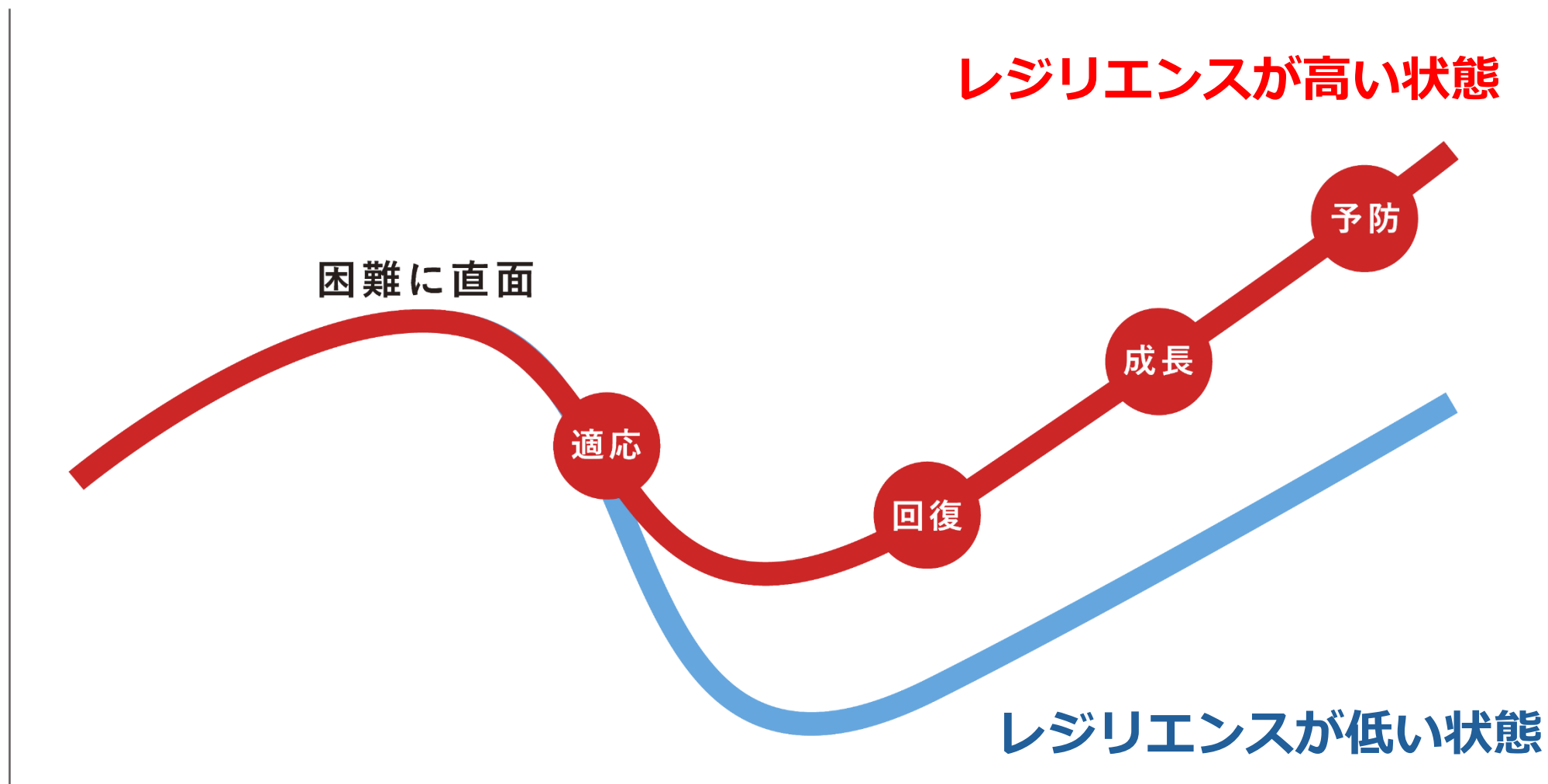
多摩市×I-レジリエンス株式会社

4月11日(木)、多摩市とI-レジリエンス株式会社は連携協定を締結



RESILIENCE (レジリエンス) とは？

生活の豊かさ



時間

レジリエントライフプロジェクトとは

自然災害でのリスク、社会に起因するリスク、個人にふりかかるリスクまであらゆる困難を乗り越えるためのライフスタイルを定着させるため官民連携でのプロジェクトを、関東大震災から100年の9月1日にスタート



確かな科学で、しなやかな社会を共創する
I-Resilience



・HAKUHODO・



レジリエントライフプロジェクトとは

どんなリスクも乗り越え、
もっと豊かになる100年へ。



**RESILIENT
LIFE
PROJECT**

自然災害に起因するリスク

地震・津波・風水害・土砂災害など

社会に起因するリスク

ネットワーク災害・交通事故・環境汚染など

個人に起因するリスク

心身の健康・キャリア形成・人間関係など



個人を起点に、あらゆる困難に適応・回復・成長・予防できる生活
＝レジリエントライフ

令和サバイバー養成キャンプ実施イメージ

自然災害、そして社会や個人に起因するあらゆるリスクからレジリエンスできる
「生きる力」を、楽しみながら習得できる新しいキャンプ体験



レジリエントライフプロジェクト「令和サバイバー養成キャンプ」

プロジェクト参画企業が提供する商品やサービスを活用した「令和サバイバー養成キャンプ」を、地域の高校生・大学生や自主防災組織を含む多摩市民など約50人を対象に行います。災害時だけでなく日常のリスクにも対応するスキルを身に付けられるキャンプを通して、楽しみながら防災を自分事化する取り組みを目指します。つきましては、ご多忙の折恐れ入りますが、万障お繰り合わせの上、ご取材賜りますようお願いいたします。

開催日時	2024年5月18日(土)10:00～13:00 (9:45 受付開始) ※天候による中止判断は前日17日(金)15:00⇒延期予備日) 6月9日(日)10:00～13:00
開催場所	聖蹟桜ヶ丘「せいせきカワマチ」
協力企業	<ul style="list-style-type: none"> ●I-レジリエンス株式会社 ●株式会社サイエンスクラフト ●タイガー魔法瓶株式会社 ●日本製紙グループ ●株式会社博報堂 ●株式会社読売新聞東京本社 (50音順)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 仲間づくり実践パート (コミュニケーション力) ② 生活環境整備パート (身近な物資で環境を整える力) ③ 心身の健康づくりパート (健康を維持する食事を準備する力/仲間との共助力) <p>※各パートにおいて協力企業のアセットを活用して参加者は体験と振り返りを繰り返します</p>



(※写真は4月実施の参画企業による実証キャンプの様子)

■会場アクセス

聖蹟桜ヶ丘「せいせきカワマチ」
住所：〒206-0011 東京都多摩市関戸
最寄り：京王線聖蹟桜ヶ丘駅徒歩5分



令和サバイバー養成キャンプ実施イメージ

災害時だけでなく日常のリスクにも対応するスキルを身に付ける3つのパートで構成。
協力企業の様々なアセットを活用し、参加者は体験と振り返りを繰り返します。

(実施コンテンツは変更の可能性がございます)

① 仲間づくり実践パート
全員の強み・得意を集めよう！

相互理解 &
チームワーク
を高めよう

② 快適な環境づくりパート
快適なベースキャンプを作ろう！

快適なベース
キャンプを
つくろう

③ 心身の健康づくりパート
おいしく健康的な食事を作ろう

同じ釜の飯を
作って絆を
深めよう



令和サバイバー養成キャンプ概要

令和サバイバー養成キャンプは、レジリエントライフプロジェクト参画企業の商品・サービスを活用し、参加者が自然災害をはじめ、社会そして個人に起因するリスクまで、あらゆるリスクが生み出す困難を乗り越えるための生きる力を身に付ける機会を提供します。キャンプでは大きく3つのパートに分かれ、参加者自身の体験とファシリテーターによる振り返りを繰り返します（内容は変更の可能性がございます）。

写真は参画企業による試験イベントの様子)

・ 仲間づくり実践パート

災害時の避難所では初めて会う人たちとの協力が必要であり、日常生活でも転職や転勤・転校などで新たな環境での人間関係の構築が求められます。双方に共通して必要なコミュニケーション力をキャンプ参加者に身に付けてもらうべく、工夫した自己紹介やチームビルディングの体験をしてもらいます。



・ 生活環境整備パート

日本製紙グループが提供する段ボールテントやいす、ちゃぶ台、簡易トイレなど、紙でできたレジリエンスな製品などを活用することで参加者が身の回りの限られた資源で生活環境を整える体験をしてもらいます。身の回りのもので活用する発想力は災害時はもちろん、日常の困りごとなどの様々なリスクへの対応に欠かせません。



・ 心身の健康づくりパート

タイガー魔法瓶株式会社の製品「魔法のかまどごはん」は、電源を必要とせず、火をつけた新聞紙によって炊き立てのご飯を味わえます。参加者には初めて会った人たちと協力し、「同じ釜の飯」を食う体験を通して共助の重要性を学んでもらいます。また、日常で使用する食品を多めにストックし災害に備えるローリングストックについても解説します。



■令和サバイバー養成キャンプロゴ

令和サバイバー
養成CAMP
BY RESILIENT LIFE PROJECT

(プロジェクト、令和サバイバー養成キャンプ問い合わせ先)

I-レジリエンス株式会社 経営企画部 (広報担当)

TEL : 03-6842-0715 (代表)

rlp@i-resilience.co.jp

(多摩市との連携協定に関する問い合わせ先)

多摩市役所 総務部 防災安全課

TEL : 042-338-6802(直通)

「再エネ電力切替協力金」 「ミスト設備補助」を実施します！

多摩市独自の気候変動の「緩和」と「適応」策として
令和6年度より新たな補助（協力金）制度を開始

環境部環境政策課

「再エネ電力切替協力金」「ミスト設備補助」を実施します！

多摩市は、気候非常事態宣言を表明し、温暖化の原因となる温室効果ガスの削減対策に取り組んできました。この取り組みをさらに加速させると共に、「地球沸騰化」ともいわれる現在の環境においても、市民の皆さんがより健幸な生活を送ることができるよう、2つの新規事業を実施します。

ポイント

多摩市独自の気候変動の「緩和」と「適応」策として令和6年度より新たな補助（協力金）制度を開始

1 再エネ電力切替協力金（新規事業）

脱炭素化を進めるためには、太陽光発電等設備等を設置し、一般家庭のCO2排出量の約66%を占める電気に係るCO2排出量を削減することが有効です。

しかしながら、集合住宅の多い多摩市においては、住民合意の必要な太陽光発電設備等の設置が進まないことが課題としてありました。

そこで、電力供給契約を、誰にでも行うことができる再エネ100%電力メニューに切替えて頂いた方へ2万円の協力金を交付し、多摩市の脱炭素化を加速させる取り組みを新たに実施します。

(1)対象 令和6年4月以降に、従量電灯BまたはCの電力供給契約を再エネ100%電力メニューに切替え、2か月以上が経過した個人または市内中小企業者

(2)交付額 一律20,000円

(3)申請期間 令和6年6月3日（月）～令和7年2月28日（金）（先着順、予算額に到達次第終了）

(4)予算額 2,000,000円（20,000円×100件）

「再エネ電力切替協力金」 「ミスト設備補助」 を実施します！

2 ミスト設備補助金（新規事業）

温室効果ガス削減を行っても、温暖化の影響により上がった気温がすぐに戻るわけではありません。ここ数年の夏季においては、熱中症患者は増加傾向にあります。

そこで、コロナ禍が明け、市内でも様々なイベントが実施されている中、現在の気温に「適応」し、市民が健幸で出歩きたくなる街としていくため、各団体がイベント会場や地域のお祭りなどにミスト設備（リース）を設置する場合、リース料の一部を補助します。

(1)対象 以下のすべてに該当する法人・団体

- ①市内のイベント会場にリースでミスト設備を設置する借主
- ②イベント時に市が指定する環境啓発ポスターの掲示をしていただける方
- ③自らが企画した環境啓発事業に取り組んでいただける方

(2) 補助対象機器・金額 移動式微細ミスト設備

対象経費の5分の4（1台あたり上限6万円）

(3) 申請期間 令和6年4月1日（月）～10月31日（木）
（先着順、予算額に到達次第終了。設置前に要申請）

(4) 予算額 1,200,000円（60,000円×20件）

別添資料

- ・再エネ電力切替協力金チラシ
- ・ミスト設備補助金チラシ

問い合わせ

環境部環境政策課

電話：042(338)6831

多摩市「本のまちプロジェクト」始動！

- ①市内書店と連携し、多摩市全体で本や読書の魅力を発信
- ②ゴールデンウィークからプロジェクトが本格始動し、2つのイベントを開催

教育部図書館

多摩市「本のまちプロジェクト」始動！

👉 ポイント

- ①市内書店と連携し、多摩市全体で本や読書の魅力を発信
- ②ゴールデンウィークからプロジェクトが本格始動し、2つのイベントを開催

1 図書館と市内書店4店舗が協力し、本や読書の魅力を発信していきます

中央図書館では令和5年7月の開館の際に、多摩中央公園や近隣施設と連携し多摩センター地区の活性化に寄与していきたいと考えていたところ、同じ本を扱う近隣の丸善多摩センター店から地域ともっと関わりを拡げたいとの話があり、新たな発見や相互交流を期待し、店長と図書館長が対談、それをきっかけに丸善多摩センター店とのコラボが始まり、おはなし会や本のテーマ展示を行うなど、本や読書の魅力を伝えてきました。

令和6年度はこの取り組みをさらに広げ、多摩センターエリアだけでなく、聖蹟桜ヶ丘エリアや永山エリアの書店（くまざわ書店2店・啓文堂書店・丸善）と図書館で「多摩市=本のまち」として新たなまちの魅力化や活性化につなげていきます。



協力 くまざわ書店桜ヶ丘店・永山店、啓文堂書店多摩センター店、丸善多摩センター店

多摩市「本のまちプロジェクト」始動！

2 ゴールデンウィークからプロジェクトが本格始動します

5月3日、4日は3エリアの書店の店長が中央図書館に集まり、図書館職員と書店や本の魅力を伝えるイベントを開催します。3日は、各書店の店長が図書館長と書店ごとのこだわりや図書館との違いなどをディスカッション、4日は多摩中央公園で新緑のさわやかな香りを感じながら自然や生きものをテーマにしたおはなし会をおこないます。各イベントの詳細は、別添のチラシ、図書館ホームページをご覧ください。

(1)書店と図書館の本にまつわるいろいろトーク

同じ本を扱う仕事でも似ているところや違うところ、「あるある」、書店によって異なる本の置き方や、特色など、ここでしか聞けない裏話をお届けします。

- ①日時 5月3日（金・祝）午後2時～3時
- ②会場 中央図書館
（2階サテライトカウンター前）
- ③対象 どなたでも
- ④定員 30人（立ち見可）
- ⑤申込 不要（当日直接会場へ）

(2)書店員 × 図書館職員 スペシャルおはなし会 & ブックトーク

8月13日の「山の日」にちなんだ大会、第8回「山の日」全国大会（東京開催）と連携し、多摩中央公園ブックパークで新緑の香りに包まれて聞く、生き物や植物をテーマにしたおはなし会です。

- ①日時 5月4日（土・祝）午後2時～2時30分
- ②会場 多摩中央公園 ブックパーク
- ③雨天 中央図書館（2階サテライトカウンター前）
- ④対象 4歳以上（未就学児は保護者同伴）
- ⑤申込 不要（当日直接会場へ）

7月以降は、各エリアで書店と中央図書館・関戸図書館・永山図書館が協力し、夏休みやクリスマスなど、季節ごとにおはなし会やテーマ展示などを開催予定

問い合わせ

教育部図書館 電話：042(373)7955

別添資料・チラシ 多摩市本のまちプロジェクト

未来へ記録する「航空斜め写真」で 多摩市・多摩ニュータウンの移り変わりを比べてみませんか？ (パルテノン多摩主催事業)

- ①クラウドファンディングでの資金調達により10年振りに航空機から多摩市の空撮が実現
- ②多摩市・多摩ニュータウンの過去の写真と2023年の写真から、街の移り変わりを紹介する展示を開催
- ③特別展の関連講座として「航空斜め写真・みんなの記憶を記録する」を開催

くらしと文化部文化・生涯学習推進課

未来へ記録する「航空斜め写真」で
多摩市・多摩ニュータウンの移り変わりを比べてみませんか？（パルテノン多摩主催事業）

👉 ポイント

- ①クラウドファンディングでの資金調達により10年振りに航空機から多摩市の空撮が実現
- ②多摩市・多摩ニュータウンの過去の写真と2023年の写真から、街の移り変わりを紹介する展示を開催
- ③特別展の関連講座として「航空斜め写真・みんなの記憶を記録する」を開催

1 ミュージアム特別展「航空斜め写真を撮影して街の姿を未来に残そう！記念写真展」

- (1)期間 5月3日（金・祝）～5月27日（月）
（休館日を除く）10時～17時30分
- (2)場所 パルテノン多摩2階 オープンスタジオ
- (3)入場料 無料

2 特別展関連講座 「航空斜め写真・みんなの記憶を記録する」

- (1)日時 5月18日（土）15時30分～17時30分
- (2)場所 パルテノン多摩2階 市民ギャラリー
- (3)定員 30人（応募多数の場合は抽選）
- (4)講師 饗庭 伸(あいばしん)
（東京都立大学教授）
- (5)費用 500円
- (6)申し込み 5月5日（日）までに、Web
フォームにて申し込み

詳細は、パルテノン多摩のホームページ
に掲載しています。
<https://www.parthenon.or.jp>

問い合わせ

くらしと文化部文化・生涯学習推進課
電話：042(338)6882

未来へ記録する「航空斜め写真」で
多摩市・多摩ニュータウンの移り変わりを比べてみませんか？（パルテノン多摩主催事業）



1968年 北側より諏訪・永山方面
/UR都市機構寄贈・パルテノン多摩所蔵



2023年7月 桜ヶ丘上空より諏訪・永山方面（南）
パルテノン多摩撮影